

Heinrich Schük

MUSIKÄLISCHE
EXEQUIEN

東京アマデウス合唱団第8回定期演奏会

石橋メモリアルホール

1987年10月11日(日)

Tokyo Amadeus Chorus



ごあいさつ

本日はお忙しい中、東京アマデウス合唱団第8回定期演奏会に御来場くださいます。ありがとうございます。

当団は昭和55年にモーツァルトのミドルネーム“アマデウス”の名を頂いて出発して以来、より良い音楽をめざして週1回の練習を重ねてまいりました。その間良き指導者と共演者に恵まれて、7回の定期演奏会を開き、少しづつではありますが着実な歩みを続けてきました。

今回の演奏会では、8回目にして初めて全曲を当団のボイストレーナーである鈴木優氏の指揮で歌うことになりました。“アマチュアだから”という甘えを排し、しかも“アマチュアだからこそ”という音楽をめざして取り上げたハスラーとシュッツですが、練習を通して育んできた親密な何かを、今夕一つの大きな祈りとして皆様にお届けできれば幸いです。

この演奏会を契機として、さらに飛躍してゆきたいと存じますので、今後とも変わらぬ御支援をお願いいたします。

事務局 山 腰 等



Programme

I H. L. Hassler (1564~1612)

Missa Secunda

Kyrie

Gloria

~Toccata avanti il Ricercare
(from "Fiori musicali")
G. Frescobaldi (1583~1643)

Credo

~Choralvorspiel
"Christum, wir sollen loben schon"
(from "Tabulaturbuch")
S. Scheidt (1587~1654)

Sanctus~Benedictus

Agnus Dei

II H. Schütz (1585~1672)

Musikalische Exequien SWV 279~281

I) Concert in Form einer teutschen

Begräbnis-Missa

II) Motette

III) Canticum B. Simeonis

I H. L. ハスラー (1564~1612)

ミサ・セクンダ

キリエ

グロリア

~リチェルカーレの前のトッカータ
(「音楽の花束」<フィオーリムジカーリ>より)
G. フレスコバルディ (1583~1643)

クレド

~コラール前奏曲
「われらキリストをたたえまつる」
(「タブラトゥーラ曲集」より)
S. シャイト (1587~1654)

サンクトゥス~ベネディクトゥス
アニュス・デイ

II H. シュッツ (1585~1672)

ムジカーリッシェ・

エクゼクヴィーエン

SWV 279~281

I) ドイツ埋葬ミサの形式による
コンツェルト

II) モテット

III) シメオンのカンテイクム

Profiles

鈴木 優 <合唱指導・指揮>

1982年東京芸術大学声楽科卒業。卒業後2年間東京混声合唱団に在団。声楽を吉岡巖、橋本周子に師事。現在主にバロック声楽曲の研究と演奏、合唱団の指導育成にあたる。当合唱団の指導は1981年より続けている。

田崎 瑞博 <チェロ>

芸大ヴァイオリン科卒。桑田晶、外山滋谷氏に師事。在学中弦楽四重奏でデビューし、その後様々な古楽器及びチェロなどを独学し現在では中世よりロマン派まで幅広い演奏活動を展開している。「古典四重奏団」、「タブラトゥーラ」、「音楽三昧」各メンバー。グレゴリオ音楽院講師。

蓮池 仁 <コントラバス>

昭和36年生まれ。東京芸術大学卒業。永島義男氏に師事。在学中芸大バウハカンタータクラブに所属、数多くのカンタータを通してアンサンブルの研さんを積む。現在フリーの奏者として活躍中。

岡田龍之介 <チェンバロ>

慶応大学、東京芸術大学卒業、'86年同大学院(音楽学)修了。チェンバロを有田千代子、音楽学を角倉一期の各氏に師事。宇田川貞夫ガンバリサイタルをはじめ種々の演奏会に出演。東京、横浜、山梨、九州等で活動中。

猿田夕紀 <ソプラノ1>

東京芸術大学3年在学中。声楽を三池三郎氏に師事。BACH KANTATEクラブにおいて小林道夫氏に、教会音楽を岳藤豪希氏に、指導を受けている。都留古楽祭に参加。4月にSchütz Abendを開く。

北村利里子 <ソプラノ2>

東京芸大3年在学中。声楽を戸田敏子氏に師事。4月にSchütz Abendを開く。8月に英国DartingtonでA.Rooley,E.Kirkbyの講習会、山梨で都留音楽祭に参加。

馬場睦子 <アルト>

国立音楽大学声楽科卒業後、東京混声合唱団入団。古楽アンサンブルでも活動。宗教曲、現代音楽の分野にレパートリー一曲を多く持つ。趣味はジョギング、スキー、エアライフル。体を動かすことの好きな一児の母である。

森本広樹 <テノール1>

高校卒業後二浪を経て現在東京芸大在学中。羽根功二、伊藤亘行、高丈二の各氏に師事。慢性睡眠病を患らふ。

金子堅治 <テノール2>

会津高校を経て国立音大音楽科卒業。田島好一、藤村晃一の両氏に師事。東京家政大及び付属高合唱団指揮者。

那須輝彦 <ベース・バリトン>

立教大学大学院博士後期課程在学中(英国教会音楽史)。グレゴリオ音楽院古楽科声楽専攻在籍。

東京アマデウス合唱団

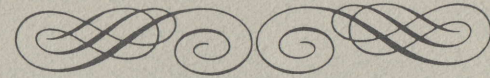
<ソプラノ> 阿部かおる 大久保ルミ子 狩野直子 窪田玲子 蔵並雅美
河野啓 小西圭子 小林真子 佐久間史枝 重光綾子
島津燐子 鈴木真澄 須藤佳代子 高田恵美子 萩原智恵子
○吉野みどり

<アルト> 石川満美 伊藤正子 井上やす子 大岩幸子 佐藤敏子
○杉本桂子 高橋早苗 田嶋洋子 中曽根敏子 永田寿子
沼田久里代 平野玲子 宮崎米子 山腰くるみ 山中照子

<テノール> 館岡民夫 釣井博之 野口碩 ○吉田一郎 米原範彦

<バス> 大庭章一郎 小西宏明 根本剛 ○山腰等 山谷浩之

○=バートリーダー



プログラムの前半で演奏するMissa Secundaの作曲家ハンス・レオ・ハスラー(1564~1612)はニュルンベルクで音楽家を父として生まれ、1584年にヴェネツィアへ行きサン・マルコ聖堂のオルガン奏者アンドレア・ガブリエリに師事し、色彩的で華麗なヴェネツィア様式の音楽を学びました。

ハスラーは宗教曲とともに世俗歌曲もたくさん残しました。特に「わが心、なぜ乱れなやむ」は歌詩をつけかえられて「血しおしたたる主のみかしら」というプロテスタントのコーラルになったことで知られています。

Missa Secundaはミサ通常文を通作したもので、キリエ冒頭の下降音型の旋律とその反行形によって各章に統一感が与えられています。

ミサ曲の各章は実際の典礼の中では連続して歌われるものではありません。本日は演奏会形式でのひとつの試みとして典礼の中での大きな区切であるCredoの前後にオルガンの独奏曲をはさんで演奏いたします。

プログラム後半の作曲家ハイน์リッヒ・シュッツ(1585~1672)は中部ドイツのケストリッツに生まれました。シュッツは当初両親の意志に従い法学博士を志しますが、ヘッセンのモーリッツ学問伯の熱心なすすめにより音楽家の道を歩みます。

ハスラーをはじめとして当時のドイツの音楽家が皆そうであったように、シュッツもまた1609年にヴェネツィアへ行き1612年までジョバンニ・ガブリエリ(ハスラーの師事したアンドレアの甥にあたる)に師事しました。帰国後1617年にドレスデン宮廷礼拝堂の楽長となり生涯この地位を全うします。

シュッツの後半生の真只中に30年戦争(1618~1648)がおこります。ある記録によれば1800万人のドイツの人口が戦後700万人になってしまったといわれています。

こういったきびしい時代にあつてシュッツの宮廷楽団も規模は縮小され、その質はみじめに低下していきました。本日演奏するMusikalische Exequienはそんな状況下で1636年に作曲されました。

この曲はシュッツの旧知であったハイน์リッヒ・ポストゥームス・フォン・ロイス公の依頼により成立したものです。ロイス公は自分の死の近いことを知り、自分の葬儀の段取りを自ら決めました。音楽も自らテキストを指定してシュッツに依頼したわけです。そのテキストは棺にも彫りこませたといわれています。

ロイス公の葬儀は1636年2月4日に行われ、この曲は演奏されたわけですが、ロイス公自身も生前にこの曲を試演させ、それを聴いたと伝えられています。

全曲は大きく3つの部分に分かれています。第1部は「ドイツ埋葬ミサの形式によるコンツェルト」でキリエとグローリアからなるドイツ・プロテスタント教会のミサ・プレヴィスにかなうものです。この部分は聖句を歌う独唱者群と合唱が交互に歌い交わっていきます。合唱はキリエの部分ではドイツ語化された「主よあわれみたまえ」を歌い祈ります。グローリアの部分では独唱者の聖句に対してコーラル編曲の合唱曲で答え、聖句を我々人間のレベルで解釈したり、集団的な祈願を捧げるといった構造になっています。

第2部は「モテット」で2重合唱による8声部の合唱曲です。この曲のテキストである「主よ、あなたさえいれば」は第1部でも歌われていますがロイス公が葬儀の際の説教のテーマとして指定したものです。

第3部の「シメオンのカンティクム」はロイス公の棺が実際に埋葬される時に作曲家自身の指揮によって歌われたと伝えられています。

合唱団の歌うシメオンのカンティクムは、ルカ伝中のエピソードで、主がつかわず救い主に会うまでは死ぬことはないという聖霊のお告げをうけていた老人シメオンが幼子イエスを腕に抱いて神をたたえた賛歌です。

これに対して2人のセラフィムと「幸福な魂」からなる第2のグループは「主にあつて死ぬ者は幸いなり」と歌い、肉体を離れて天国に至り天上の霊や天使たちと交る幸福な魂を示しています。

有名な音楽学者である、アルフレート・アインシュタインはシュッツを評して「知りうるかぎりのもっとも精神的な音楽家」と言っています。一年間にわたつてシュッツの音楽に取りこんでみて、いかにその存在が崇高かつ孤高であり現代社会一般の価値感からかけ離れたものであるかを痛感いたしました。

シュッツの音楽が広く一般大衆に受け入れられるものではないことは、はっきりしています。しかし永遠にその生命を持ち続けるであろうことも確かなことであると確信いたします。

鈴木優



Missa Secunda

Kyrie

Kyrie eleison
Christe eleison
Kyrie eleison

Gloria

Gloria in excelsis Deo.
Et in terra pax hominibus bonae voluntatis.
Laudamus te:
benedicimus te:
Adoramus te: glorificamus te.
Gratias agimus tibi propter magnam gloriam tuam.
Domine Deus. Rex coelestis. Deus Pater omnipotens.
Domine Fili unigemite. Jesu Christe.
Domine Deus, Agnus Dei, Filius Patris.
Qui tollis peccata mundi, miserere nobis.
Qui tollis peccata mundi, suscipe deprecationem nostram.
Qui sedes ad dexteram Patris, miserere nobis.
Quoniam tu solus Sanctus, tu solus Dominus,
tu solus Altissimus, Jesu Christe,
Cum Sancto Spiritu in gloria Dei Patris.
Amen.

Credo

Credo in unum Deum.
Patrem omnipotentem, factorem coeli et terrae,
visibilem omnium et invisibilem.
Et in unum Dominum Jesum Christum,
Filium Dei unigenitum.
Et ex Patre natum ante omnia saecula.
Deum de Deo, lumen de lumine, Deum verum de Deo vero.
Genitum non factum, consubstantialem Patri:
per quem omnia facta sunt.
Qui propter nos homines,
et propter nostram salutem
descendit de caelis.
Et incarnatus est de Spiritu Sancto ex Maria Virgine:
et homo factus est.
Crucifixus etiam pro nobis: sub Pontio Pilato
passus, et sepultus est.
Et resurrexit tertia die, secundum Scripturas.
Et ascendit in caelum, sedet ad dexteram Patris.
Et iterum venturus est cum gloria judicare
vivos et mortuos: cujus regni non erit finis.
Et in Spiritum sanctum, Dominum et vivificantem:
qui ex Patre et Filioque procedit.
Qui cum Patre et Filio simul adoratur, et conglorificatur:
qui locutus est per Prophetas.
Et unam sanctam catholicam et apostolicam Ecclesiam.
Confiteor unum baptismum in remissionem peccatorum.
Et expecto resurrectionem mortuorum,
et vitam venturi saeculi. Amen.

Sanctus

Sanctus, Sanctus, Sanctus, Dominus Deus Sabaoth.
Pleni sunt coeli et terra gloria tua.
Hosanna in excelsis.
Benedictus qui venit in nomine Domini.
Hosanna in excelsis.

Agnus Dei

Agnus Dei, qui tollis peccata mundi, miserere nobis.
Agnus Dei, qui tollis peccata mundi, miserere nobis.
Agnus Dei, qui tollis peccata mundi, dona nobis pacem.

ミサ・セクンダ

キリエ

主よ、あわれみたまえ
キリストよ、あわれみたまえ
主よ、あわれみたまえ

グロリア

いと高きところには栄光、神にあり。
地には平和、人には恵みあれ。
全能の父・天の主・主なる神よ、
我ら主をほめ、主をたたえ、
主を拝み、主をあがめ、主の大いなる栄光のゆえによりて、
感謝してまつる。
神の生みたまいしひとり子・主イエス＝キリスト、
世の罪を除きたもう神の小羊・父の御子・主なる神よ、
我らをあわれみたまえ。
世の罪を除きたもう主よ、我らの祈りをうけたまえ。
父の右に座したもう主よ、
我らをあわれみたまえ。
イエス＝キリストよ、主のみ聖なり。主のみ王なり。
主のみ聖霊とともに、父の栄光のうちにいまして、
もつともたかし。
アーメン。

クレド

我は唯一の神・全能の父。
天地とすべて見ゆる物と見えざる物の造り主を信す。
我は唯一の主イエス＝キリストを信す。
主は、よろず世のさきに、
父より生まれたるひとりの御子、
神よりの神、光よりの光、まことの神よりのまことの神、
造られずして生まれ、父と一体なり。
よろずのもの
主によりて造られたり。
主はわれら人類のため、
また我らを救わがために天よりくだり、
聖霊によりておとめマリアより肉体を受け、
人性をとり、
我らのためにポンテオ＝ピラトのとき、十字架につけられ、
苦しみを受け、葬られ、
聖書にかないて三日目によみがえり、
天に昇り、父の右に座したまえり。
また栄光をもって再びきたり、
生ける人と死ぬる人をさばきたまわん。
その国は終ることなし。
我は聖霊を信す。
聖霊は命を与うる主、
父と子よりいで、
父と子とともに拝みあがめられん、
預言者によりて語りたまひし主なり。
我は使徒たちよりの唯一の聖公会を信す。
罪の赦しをうる唯一の洗礼を信認す。
死にし人のよみがえりと来世の命を望む。アーメン。

サンクトゥス～ベネディクトゥス

聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、万軍の神。
主の栄光天地に満てり。
いと高きところにホザンナ。
ほむべきかな、主の御名によりてきたる者。
いと高きところにホザンナ。

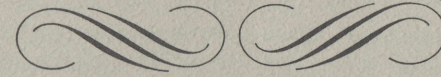
アニュス・デイ

世の罪を除きたもう神の小羊よ、我らをあわれみたまえ。
世の罪を除きたもう神の小羊よ、我らをあわれみたまえ。
世の罪を除きたもう神の小羊よ、主の平安を与えたまえ。

Musikalische Exequien

ムジカーリツシエ・エクゼクヴィーエン

〈葬送の音楽〉



I. Concert in Form einer deutschen Begräbnis-Missa

(KYRIE)

[Kyrie eleison] — Tenor 1, Tenor 2, Bass 1
Nacket bin ich vom Mutterleibe kommen.
Nacket werde ich wiederum dahinfahren.
Der Herr hats gegeben, der Herr hats genommen; der Name des Herren sei gelobet!
Hiob 1, 21

Sechsstimmiger Chor

Herr Gott, Vater im Himmel, erbarm dich über uns.
[Christe eleison] — Sopran 1, Sopran 2, Tenor 1
Christus ist mein Leben, Sterben ist mein Gewinn. Siehe, das ist Gottes Lamm, das der Welt Sünde trägt!
Phil 1, 21; Joh 1, 29

Sechsstimmiger Chor

Jesu Christe, Gottes Sohn, erbarm dich über uns.
[Kyrie eleison] — Alt und Bass 1
Leben wir, so leben wir dem Herren; sterben wir, so sterben wir dem Herren. Darum, wir leben oder sterben, so sind wir des Herren.
Röm. 14, 8

Sechsstimmiger Chor

Herr Gott, heiliger Geist, erbarm dich über uns.
[GLORIA]
[Gloria in excelsis Deo...] — Sopran 1, Sopran 2, Alt, Tenor 1, Tenor 2, Bass 1
Also hat Gott die Welt geliebt, daß er seinen eingebornen Sohn gab, auf daß alle, die an ihn glauben, nicht verloren werden, sondern das ewige Leben haben.
Joh 3, 16

Sechsstimmiger Chor

Er sprach zu seinem lieben Sohn: "Die Zeit ist hie zu erbarmen, fahr hin, meins Herzens werte Kron, und sei das Heil der Armen und hilf ihn' aus der Sünden Not, erwürg für sie den bittern Tod, und laß sie mit dir leben."

Nun freut euch, lieben Christen gmein, EKG 239, Str. 5

1. ドイツ埋葬ミサの形式によるコンチェルト

〔キリエ〕

〔主よ、憐れみたまえ〕 テノール1、テノール2、バス1
裸で私は母の胎を出た。裸でまた、そこへ帰ってゆこう。主がお与えになったものを、主がお取り戻しになったのだ。主の御名はほむべきかな！
(ヨブ記 1、21)

6 声部合唱

主なる神、天にまします父よ、われらを憐れみたまえ。
〔キリストよ、憐れみたまえ〕 — ソプラノ1、ソプラノ2、テノール1
キリストは私の命、死は私の益。見よ、世の罪を担いたもう神の小羊を。
(ピリピ書 1、21; ヨハネ伝 1、29)

6 声部合唱

イエス・キリスト、神の御子よ、われらを憐れみたまえ。
〔主よ、憐れみたまえ〕 — アルト、バス1
われらが生きる時、われらは主のために生きる。われらが死ぬ時、われらは主のために死ぬ。それゆえ、生きるにしろ死ぬにしろ、われらは主のものである。
(ヨハネ伝 3、16)

6 声部合唱

主なる神、聖霊よ、われらを憐れみたまえ。

〔グロリア〕

〔いと高きところにいます神に栄光あれ……〕 — ソプラノ1、ソプラノ2、アルト、テノール1、テノール2、バス1
かくも神は世を愛したまい、そのひとり子を賜わった。それは、彼を信じる者がひとりも滅びることなく、永遠の命を得るためである。(ヨハネ伝 3、16)
6 声部合唱
神はいとし子に語った、「今こそ、憐れみの時が来た。行け、わが心の貴き冠。貧しき人々の救いとなり、彼らを罪の苦難より助け、彼らのために苦き死を殺し、彼らをそなたと共に生かしめよ。」
『いまだ喜び、汝らキリストのともがらよ』 第5節、

E K G (福音教会聖歌集) 239

[Domine Fili unigenite, Jesu Christe...] —
Sopran 2, Tenor 2

Das Blut Jesu Christi, des Sohnes Gottes,
machet uns rein von allen Sünden.

1. Joh. 1, 7

Sechsstimmiger Chor

Durch ihn ist uns vergeben die Sünd, geschenkt das Leben. Im Himmel solln wir haben, o Gott, wie große Gaben.

Nun lasst uns Gott dem Herren, EKG 227, Str. 6

Sopran 1 Bass 1

Unser Wandel ist im Himmel, von dannen wir auch warten des Heilandes Jesu Christi, des

Herren, welcher unsern nichtigen Leib verklären wird, daß er ähnlich werde seinem verkärten Leibe.

Phil. 3, 20 u. 21

Sechsstimmiger Chor

Es ist allhier ein Jammertal, Angst, Not und Trübsal überall; des Bleibens ist ein kleine Zeit, voller Mühseligkeit, und wers bedenkt, ist immer im Streit.

Ich hab mein Sach Gott heimgestellt, EKG 315, Str. 3

[Qui tollis peccata mundi...] — Tenor 1, Tenor 2
Wenn eure Sünde gleich blutrot wäre, soll sie doch schneeweiß werden; wenn sie gleich ist wie rosinfarb, soll sie doch wie Wolle werden.

Jes. 1, 18,

Sechsstimmiger Chor

Sein Wort, sein Tauf, sein Nachtmahl dient wider allen Unfall; der Heilige Geist im Glauben lehrt uns darauf vertrauen.

Nun lasst uns Gott dem Herren, EKG 227, Str. 5

[Suscipe deprecationem nostram] — Alt
Gehe hin, mein Volk, in eine Kammer und schleuß die Tür nach dir zu; verbirge dich einen kleinen Augenblick, bis der Zorn vorübergehe.

Jes. 26, 20

Sopran 1, Sopran 2, Bass

Der Gerechten Seelen sind in Gottes Hand, und keine Qual rühret sie an. Für den Unverständigen werden sie angesehen, als stürben sie, und ihr Abschied wird für eine Pein gerechnet, und ihr Hinfahren für Verderben; aber sie sind in Frieden.

Weish. 3, 1-3

[ひとり子なる主、イエス・キリスト……] — ソプラノ 2, テノール 2

神の御子イエス・キリストの血が、われらをすべての罪より浄めてくれる。 (ヨハネ第 1 書 1, 7)

6 声部合唱

キリストによりわれらの罪は赦され、命がわれらに与えられる。天にわれらは、おお神よ、どれほど大きな賜物を得ることでしょうか。

「いざ、主なる神に感謝を捧げん」第 6 節, EKG 227
ソプラノ 1, バス 1

われらのなりわいは、天にある。そこからわれらは、主なる救い主、イエス・キリストを待ち望む。キリ

ストはわれらの卑しいからだを変容させ、ご自身の神々しいからだと等しくして下さるだろう。

(ピリピ書 3, 20-21)

6 声部合唱

ここは涙の谷、不安、苦難、憂いがあるばかり。束の間の宿りには辛苦が満ち、世を思いみる者は、たえず葛藤にさらされる。

「われわがことを神に委ね」第 3 節, EKG 315

[世の罪を除きたもう者……] — テノール 1, テノール 2
汝らの罪が血のように赤くとも、それは雪のように白くならう。その色が乾しぶどうのように濁っていても、羊の毛のように清くならう。

(イザヤ書 1, 18)

6 声部合唱

御言葉、洗礼、晩餐は、すべての災にあらがう力。聖霊は、信仰において、われらがそれに依り頼むべしと教えている。

「いざ、主なる神に感謝を捧げん」第 5 節, EKG 227
[われらの願いをきき入れたまえ] — アルト
わが民よ、部屋に入り、おのれのうしろの戸を閉じよ。怒りがすぎゆくまで、しばし身を隠しおれ。

(イザヤ書 26, 20)

ソプラノ 1, ソプラノ 2, バス

正しき者の魂は神の御手にあり、どんな責苦も彼らに届くことはない。分別なき者の目には彼らが死んだように見えるだろう。告別は苦しみ、去りゆくは減びと見えさせよう。しかし、彼らは平安の中にある。

(ソロモンの知恵 3, 1-3)

Alt, Tenor 1, Tenor 2, Bass 1

Herr, wenn ich nur dich habe, so frage ich nichts nach Himmel und Erden. Wenn mir gleich Leib und Seele verschmacht, so bist du, Gott, allzeit meines Herzens Trost und mein Teil.

Psalm 73, 25-26

Sechsstimmiger Chor

Er ist das Heil und selig Licht für die Heiden, zu erleuchten, die dich kennen nicht, und zu weiden, er ist seines Volks Israel der Preis, Ehr, Freud und Wonne.

Mit Fried und Freud ich fahr dahin, EKG 310, Str. 4

Bass 1, Bass 2

Unser Leben währet siebenzig Jahr, und wenns hoch kömmt, so sinds achtzig Jahr, und wenn es köstlich gewesen ist, so ist es Müh und Arbeit gewesen.

Psalm 90, 10

Sechsstimmiger Chor

Ach, wie elend ist unser Zeit allhier auf dieser Erden, gar bald der Mensch darnieder leit, wir müssen alle sterben. Allhier in diesem Jammertal ist Müh und Arbeit überall, auch wenn dirs wohl gelingt.

Ach wie elend ist unser Zeit, Str. 1

[Qui sedes ad dexteram Patris...] — Tenor 1
Ich weiß, daß mein Erlöser lebt, und er wird mich hernach aus der Erden auferwecken, und werde darnach mit dieser meiner Haut umgeben werden, und werde in meinem Fleisch Gott sehen.

Hiob 19, 25-26

Sechsstimmiger Chor

Weil du vom Tod erstanden bist, werd ich im Grab nicht bleiben; mein höchster Trost dein Auffahrt ist, Todsfurcht kannst du vertreiben; denn wo du bist, da komm ich hin, daß ich stets bei dir leb und bin; drum fahr ich hin mit Freuden.

Wenn mein Stündlein vorhanden ist, EKG 313, Str. 4

[Quoniam tu solus sanctus...] — Sopran 1, Sopran 2, Alt, Tenor 1, Tenor 2, Bass 1

Herr, ich lasse dich nicht, du segnest mich denn.

1. Mose 32, 7

アルト 1, テノール 1, テノール 2, バス 1

主よ、あなたさえ私にあれば、天にも地にも、私の尋ね求めるものはない。わがからだと魂が衰えようとも、神よ、あなたはいつでもわが心の慰め、私の一部分なのです。

(詩篇 73, 25-26)

6 声部合唱

彼は異邦人の救いにして幸いなる光、あなたを知らぬ人々をも照らし、牧したもう。彼はその民イスラエルの栄光とほまれ、喜びと楽しみ。

「平安と喜びもてかれは往く」第 4 節, EKG 310

バス 1, バス 2

われらはこの世で 70 年の命、健やかであっても、80 年にすぎない。たとえ貴重な生であっても、骨折りと労苦ばかりで過ぎてゆく。

(詩篇 90, 10)

6 声部合唱

ああ、この世で過ごすわれらの生の、なんと惨めなことか。老いゆくを見る間に、すべての人が死なねばなやぬ。ここ涙の谷においては、幸いに恵まれた者にすら、至るところ骨折りと労苦がある。

「ああ、何と惨めなわれらの時」第 1 節

[父の右に座したもう者……] — テノール 1

私は知る、私をあがなう者は生きておられる。その日に彼は私を地中から目覚めさせるであろう。そのとき私はこのわが皮膚に身をつつまれ、わが肉のまま、神を見るであろう。

(ヨブ記 19, 25-26)

6 声部合唱

あなたが死からよみがえりたもうたからには、私も墓に朽ち果てることはないでしょう。あなたの昇天は、わがこよなき慰め。死の怖れを、あなたは追い払って下さいます。なぜなら、あなたのおられる所に私も行き、私はつねにあなたと共に生き、また在るからです。ですから私は、喜んで世を去ってゆきます。

「わがいまわの時のいざ来たらば」第 4 節, EKG 313

[汝は唯一の聖なる者……] — ソプラノ 1, ソプラノ 2, アルト, テノール 1, テノール 2, バス 1
主よ、私はあなたを離しません、私を祝福して下さいまで。

Sechsstimmiger Chor

Er sprach zu mir: "Halt dich an mich, es soll dir
itzt gelingen; ich geb mich selber ganz für dich,
da will ich für dich ringen. Den Tod verschlingt
das Leben mein, mein Unschuld trägt die Sünden
dein, da bist du selig worden."

Nun freut euch, lieben Christen gmein, EKG 239, Str. 7 (bzw. 8)

2. Motette: Herr, wenn ich nur dich habe Achtstimmiger Doppelchor

Herr, wenn ich nur dich habe, so frage ich
nichts nach Himmel und Erden. Wenn mir
gleich Leib und Seele verschmacht, so bist du
doch, Gott, allezeit meines Herzens Trost und
mein Teil.

Psalm 73, 25-26

3. Canticum B. Simeonis

Chor 1: Fünfstimmiger Capellchor

Herr, nun lässtest du deinen Diener in Frieden
fahren, wie du gesagt hast. Denn meine Augen
haben deinen Heiland gesehen, welchen du bere-
itet hast für allen Völkern, ein Licht, zu erleu-
chten die Heiden und zum Preis deines Volks
Israel.

Luk 2, 29-32

Chor 2: Dreistimmiger Favoritchor (Seraphim I und II, Beata anima cum Seraphinis)

Selig sind die Toten, die in dem Herren sterb-
ben. Sie ruhen von ihrer Arbeit, und ihre Werke
folgen ihnen nach. Sie sind in der Hand des
Herren und keine Qual rühret sie. Selig sind die
Toten, die in dem Herren sterben.

Offb. 14, 13 und Weish. 3, 1.

6 声部合唱

彼は私に言われた。「私に依り頼め、今やお前に成
功が恵まれよう。私は私自身をすべてお前に与え、
お前のために戦おう。わが生が死を食い尽し、わが
無辜がお前の罪を担う。こうして、お前は至福の身
となったのだ。」

「いまぞ喜べ、キリストのともがらよ」第7節、EKG 239

2. モテット: 主よ、あなたさえ私にあれば

8 声部の二重合唱

主よ、あなたさえ私にあれば、天にも地にも、私の
尋ね求めるものはない。わがからだは魂は衰えよう
とも、神よ、あなたはいつでもわが心の慰め、私の
一部分なのです。

(詩篇73、25-26)

3. シメオンのカンティクム

合唱 1: 5 声部のカベッラ合唱

主よ、今こそあなたは、み言葉の通りに、このしも
べを安らかに逝かせて下さいます。私の目があなた
の下された救い主を見たのですから。救い主はあな
たが万民のためにお備えになったもので、異邦人を
照らし出す光、み民イスラエルの栄光なのです。」

(ルカ伝 2、29-32)

合唱 2: 3 声部の選抜合唱 (セラフィム I と II、セラ フィムと共にある至福の魂)

主にあつて死にゆく者は幸いなるかな。彼らはその
労苦を解かれて休み、そのおぎは彼らについて行く、
彼らは主の御手にあり、どんな責苦も彼らに届くこ
とはない。主にあつて死にゆく者は幸いなるかな。

(ヨハネ黙示録 14、13、ソロモンの知恵 3、1)



1981 February	Mozart: REQUIEM
1981 November	Händel: MESSIAH
1982 November	Fauré: REQUIEM
1983 September	Mozart: KRÖNUNGS MESSE
1984 September	Mozart: REQUIEM
1985 October	Bach: KANTATE Nr. 106
1986 October	Mozart: GROSSE MESSE
1987 October	Schütz: MUSIKALISCHE EXEQUIEN

東京アマテウス合唱団

合唱団員募集

私たち東京アマテウス合唱団は、第9回定期演奏
会でモーツァルトの宗教曲を歌うことになりました。
皆さん一緒に歌いませんか！ 私たちは1人
でも多くの方と、歌う喜びをわかちあいたいと思
っております。お気軽に、練習風景をのぞきに
いらして下さい。

練習日: 毎週水曜日 午後6:00-9:00

場 所: 早稲田奉仕園(地下鉄東西線早稲田)

問合せ: ☎044-722-8833 / 米原

